

## 介護サービスを手軽にシミュレーション

ライズ・インターナショナル

在宅介護サービスやコンピューターソフト開発を手がけるライズ・インターナショナル(川崎市、菊地康夫社長)はこれまでに、インターネット上で、居宅系サービスの利用者向けにサービスの種類と自己負担額を連動させてシミュレーションできるサービスの提供を始めた。使いたいサービスの種類を選んで条件を入力すれば、数秒で自己負担額と予算の余りが表示される。

まず、初期画面で郵便番号と要介護度の基本情報を入力する。次に、訪問介

護や通所介護など利用したいサービスの種類を選ぶ。①サービス時間②時間帯③頻度—など希望する条件を画面の項目に従って入力していき、設定が終われば数秒後に、自己負担額や予算の残りなどが表示される仕組み。福祉用具レンタルにも対応している。予算が余った場合には、利用回数を増やしたり、別のサービスも使うなどしてシミュレーションを続けられる。

郵便番号の入力で、地域加算も計算に組み込んでいるのが特徴。氏名を入

力する必要がないため、匿名性を保つこともできるという。

利用者が、自分に合った介護サービスを主体的に選ぶことができるために、菊地社長が考えたのがきっかけ。菊地社長は「将来は、サービス提供事業者をデータベース化して、利用者がサービスも事業者もすべて選んで、(データを)居宅介護支援事業者に送るようにしたい」と語る。そのほか、現在工事中の「料理」のコーナーが完成すれば、高齢者向けのメニューが画像とレシピつきで見られるようになる。1か月の利用が基本。

同社ホームページへのアクセスは <http://www.riseinternational.co.jp> まで。